

～緊急メッセージ～

日本小児外科学会会員並びにホームページをご覧になった皆さんへ

2月に始まったウクライナでの武力危機は3月になっても続いています。戦争の長期化に伴い、軍隊のみならず、ウクライナの民間の方々の犠牲が増え続けています。その中には沢山の子どもたちの命も含まれます。そして、すでに150万人以上の子どもが国外への避難を余儀なくされています。

子どもは世界共通の希望であり宝物です。ウクライナの今だけでなく、その未来が壊され続けています。

日本小児外科学会は、子どもたちの健全な育成を支援する立場より、いまウクライナで起きている戦争に反対します。

我々にできることは限られていますが、例えば、ユニセフ ウクライナ緊急募金（[ウクライナ緊急募金 | 日本ユニセフ協会 \(unicef.or.jp\)](https://www.unicef.or.jp/ukraine)）や日本赤十字社 ウクライナ人道危機救援金（<https://www.jrc.or.jp/contribute/help/ukraine/>）などによって、手を差し伸べることを皆さんに呼びかけたいと思います。

2022年3月18日
日本小児外科学会
理事長 奥山宏臣

Statement on the war in Ukraine

The armed crisis in Ukraine that began in February continued into March. As the war drags on, the number of casualties continues to rise, not only among the armed forces, but also among Ukrainian civilians. This includes the lives of many children.

And more than 1.5 million children have been forced to flee the country.

Children are the world's common hope and treasure. Ukraine's present as well as its future continues to be destroyed.

The Japanese Society of Pediatric Surgeons, from the standpoint of supporting the sound development of children, opposes the war that is now taking place in Ukraine.

March 18th, 2022

Hiroomi Okuyama

President

The Japanese Society of Pediatric Surgeons